磐城新聞

休刊　大祭日　第一第三日曜
定價　壹枚　錢　壹ケ月　五十錢　郵税十錢
廣告料（新聞欄外一行金　錢）一行　三十錢
編輯兼印刷人　道治　龍輔
發行所　福島縣平町拾六　磐城新聞社　電話五六四番

人生と探偵趣味

澤田市郎

探偵趣味といふものは、昔かゝ類の間にかなり重要なを勧めてゐたもので一口に探偵小説と云へば何かしら下品な感じを與へる。この名稱のために今日まではどれほど損をしてゐたか知れない。探偵といふ文字は直に泥棒や刑事を聯想せしめる。抑々これがいけないのである。探偵小説は何も泥棒をつかまへる小説に限つた譯ではない。よしんば泥棒を取扱つても、その泥棒の人間的心理とか、深い巧妙な推理とかを描寫するのであつて、その眼目が泥棒そのもの、刑事そのものにある譯ではないのである

◇

探偵小説と學問とは甚だ縁の深いものである。その一にはよく醫學的知識が利用されてゐる、化學的研究が行はれてゐる。檢微鏡が出てくる。物理學が應用される。天文學が考へられる。動植物學が現れる。法律學が求められる。と云つたやうにあらゆる學問が必要なのであるあのやかましいフロイドの精神分析學などはとつくの昔探テイ小説には利用されてゐる。いや利用したといふよりは寧ろフロイドの出てこない先に、探偵小説の方ですでに精神分析の理論を實際に行つてゐたと云ふ方が當つてゐるのである。

◇

探偵小説が學問と密接の關係を有してゐることは、啻にさうした意味ばかりでなく、まだその外にもある。それは學問の研究といふことそれ自身が、すでに一種の探偵であると云ふ見方である。權威あるわが國探偵小説の一人小酒井不木博士などもさうした經驗があるさうだが、私は　頭、何かの學問を勉強するのに、主として探偵趣味でやつたものであつた。講談は餘り聴きに出なかつた方であるが、よく圖書館へ這入つて、一つの問題についてあらゆる著者の意見を集め、それを綜合したり分析したりして、その間に自分の意をまとめる事に、この上もない興味をもつた。恰も探偵小説の主人公が犯罪の跡を調べるやり方と同じ筆法である。語學がやはりさうであつた。異國の馴れぬ言葉を一字一字究明にひろつて行つて、それでその全体の意味を解く仕事は、探偵趣味以外のものではなかつたのであつた。もし苦心の結果が容しくし、意味の通じない場合は、更によく分析し、綜合し、細心の注意と努力とを重ね、漸く正体を捕へた時に至る過程はたしかに探偵の苦心そのものであらう

明日の吉凶
舊曆九月十六日
新暦十月十一日

▲一白　人の上に立てば一倍の勞苦を身に覺ゆる日▲二黑　上下に謀り一致せし所によりて活動すべし▲三碧　殺伐の氣を押へ口を愼めば何事にも吉き日▲四綠　進め男氣充つれば矢玉の雨も恐るに足らず▲五黃　心定まり内整へば由來事は變ふるに及ばず▲六白　實直に勵めば豫期以上の發展を得らるべし▲七赤　盲進には危險伴ふ運びは遲くとも徐々が吉▲八白　條理正しく細事の爲に方針を曲ぐべからず▲九紫　長堤も蟻の一ト穴より潰ゆることあり注意

平町南町
上田外科醫院
電話一二九番

講談
磐城と蛇
(156)
高橋捌太郎創作
布施半八郎揮毫

秘密の通信

神部清左工門が怪人の爲め討たれたことは本間家にとつて大問題であつた。深雪の方をはじめ清左工門を唯一の頼りにしてた忠義の面々は何れも悲嘆の涙に暮れた。部内の百姓も慈父を失つたやうに嘆いた、清之助は首のない死体を引取つて清水八郎等の同志の人々と相談して葬儀を營んだ、勿論上席家老の神部清左工門の葬儀のことであつたから早間重太夫をはじめ家中全部の人々が葬儀に列したが清之助は清左工門から聞いてゐた忠義の人々にだけ內輪の相談をし、死体は他の者の眼には餘り觸れさせないで棺に納めた首のない死体であるから誰しも見た所で仕様がないことであつた。寶部左內も棺に納める時に立會つたが左內は重太夫一味のやうに見せてゐて實は清左工門と心を同じくしてゐたから、その葬儀についても重太夫に通してば自ら進んで一味の代表のやうになつてゐた。深雪の方が清左工門が別れる時に云つた言葉を忘れはしなかつた。

「拙者の身の上にたとへどのやうな變事があらうとも決して御心配下さいますな」

と清左工門はくれ〴〵も云つたのであつた。しかし如何なる變事があらうと云つてもよもやこれほどの大事はあるまいと思つて居た。怪人の手腕の勝れて居ることは知つてゐるけれど清左工門の手腕も信じて居たし殊に怪人が味方の者のようであるから互に討つ討たれるといふようなことはあるまいと思つて居た。それが思ひがけない清左工門の死に接したのであるから、清左工門のくれ〴〵も云ひ殘した言葉のも無駄で深雪の方の嘆きは深く悲しみは限りないものであつた清之助の悲嘆も勿論のことで假りにも父と呼ばれて來たので矢張り家臣の死と云ふ哀れみでなく父の死と云ふ悲しみに胸をふさがれたのであらう、佛前を去る事なく悲しみの眼を閉ぢ合掌して冥福を祈るのであつた

「どのやうに嘆かれても死ん者は蘇りはせぬ諦められるがようござる」

と清水八郎や寶部左內が慰めた清水八郎も寶部左內も五十の坂を越してゐた。

神部清左工門が討たれた翌る夜早間重太夫の邸に一通の書面が届いた御直披と書いた封を開いて見るど、これは重太夫が清左工門に尾行させた一味の者からの通信であつた。冒頭に「早」と大きく終尾に「夫」と小さく記したのが秘密の合言葉で文句を讀み下せば

昨夜御仰に從ひ神部清左工門の舉動を窺ひ尾行仕候處、清左工門は本　御覧の如く街道脇の田の畔に於て怪人の爲めに討たれ首をはねられ申候と清左工門の最後の有樣を報じ直ちに怪人を尾行したが途中で見失つたしかし怪人は城の裏の山中に陰れてゐるらしいのは確かであるから今度は必ず突きとめて見せる考であると記し誰れ走り書き認めてあつた。

「むゝいよいよ怪人の正体が判明するか」

と重太夫は北叟笑んだ

廣告

ちのくすり
御需めの方は
平白銀町
吉田新聞店へ
電話四十八

平町田町通り
磐城病院
電話一一四番

平館隣り
御料理
鰻蒲燒
仕出し
魚榮
電話四二四番

吉田眼科醫院

平町田町
高久病院
電話五二三番

日々皆様の御最負に酬ゆる爲め左記の通り大々的勉強仕り候
是非引續き御愛顧の程御願申上候

記

期間　十二月末日マデ
◎
梅　參圓也（御一人前　藝妓、車賃往復　御酒御料理三品）
松　五圓也（御一人前　藝妓、車賃往復　御料理五品）
櫻　七圓也（二人樣デモ差支アリマセン　藝妓　車賃往復　御料理七品）
（以上現金ニ限ル）
松ケ岡公園池ノ端
割烹　ときわ
電二二六番

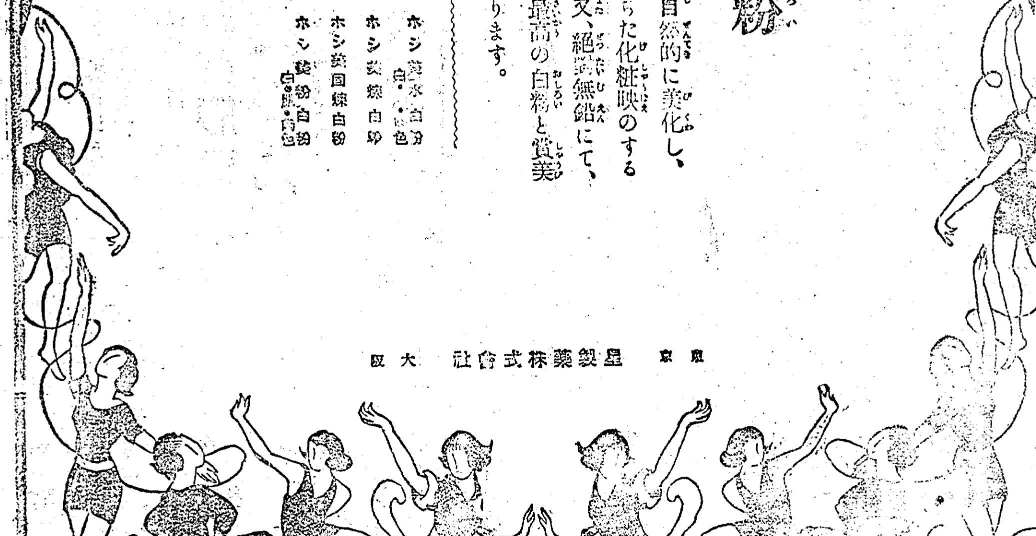
内科
小兒科
皮膚科
花柳科
平町舊城跡（城山）
青沼醫院
醫學士　青沼淡夫
電話四〇三番

ホシ美白粉

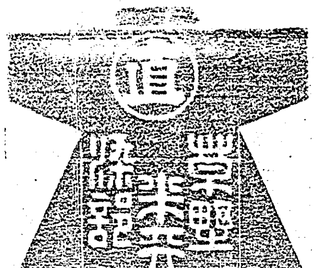
最高の白粉

どなたの肌をも自然的に美化し、氣品と艶麗に滿ちた化粧映のするホシ美白粉こそ又、絶對無鉛にて、衛生上よりも、最高の白粉と賞美さるゝものであります。

ホシ美水白粉　白・肉色
ホシ美煉白粉
ホシ美固煉白粉
ホシ美粉白粉　白・肌・肉色



東京　星製藥株式會社　大阪



金牌一等賞受領(數回)
磐城國平町
草野染工場
電話三四八番

◎徒弟入用
徒弟契約ニ付テハ年明キノ際シ有利ニ御相談申上候

創業三十周年紀念賣出し中
御後援を賜り候御禮として
特賣
トンカツレツ
メンチカツレツ
ライスカレー
各十五錢
其他相應じて格安

松茸フライ　一品三十錢

十月一日ヨリ相始申候
洋式宴會
仕出し
平町田町
一の井
電話一六七番

齒科口腔一般
診療時間（午前七時ヨリ午後八時マデ）
但シ急患ハ此限リニアラズ
平町南町成田山前
鈴木齒科醫院
醫學士　鈴木五郎

耳鼻咽喉科專門
入院隨時（自炊の便あり）
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

診察無料
如何なる重患でも直ちに癒る三丁目の大谷へ御出下さい
院長博士　敬白
大谷時計病院
電話一一九番

常磐線を運轉の 三等の寢臺車
愈々乘客の優遇に 今度こそ實現

平驛では乘降客が年と共に增加し殊に急行寢臺車の乘用申込が殖いて來たが三等寢臺車の設備がない爲め一般とも不便を感じてゐたので鐵道省では多年の懸案となつてゐて而も今日まで實現の運びに至らなかつた三等車利用の遠距離旅行者優遇案をやうやくこの程具体化せしめるに至つた即ち急行列車運轉の幹線に對してのみ三等寢臺車を連結する方針で先年來より調査を進めてゐたが所謂寢臺車の如き裝置を施す時は定員を甚だしく減ずるのみならず意外に膨大な經費を要するといふ反對論が有力に主張され此計畫も行惱み狀態にあつたゝめ工作局では更にそれ以外の良案につき研究中であつたがその結果以前山陽線に運轉したことのある寢臺車を來年度以降隨時作製する事となつたそれは現在にをける定員八十名の大型ボギー車に比較してその定員が二割より減ずる而も經費にたいて僅か一臺につき二千圓より增さないと言ふ至極結構なる計畫を樹つるに至つたがこれは恰も床屋の椅子に似たものでこれを作製の上は差當り東海道線東北本線常磐線等に運轉の方針であると

白井遠平翁長逝
九日午後本郷の邸で 遺骨十二日平着

磐城の生める偉人、本縣農工銀行頭取白井博之氏嚴父白井遠平翁は豫て東京市本郷區上富士前町の邸に療養中の處九日午後四時遂に永眠した、危篤報傳はるや在福中の白井博之氏以下白井家よりは令孫白井一郎、草野順平、郡司二郎氏を初め安島重三郎、金成通、縣議鈴木辰三郎、古川傳一、前縣議小野井上氏其外親近者東京、近藤、中澤、大森藤田諸家より馳せつけ臨終を守つた享年八十二才、遺骸は十二日茶毘に附し十三日午前十一時上野發特別連結の靈柩車にて午後四時五十五分平着、苦じある翁は中藩、儒者神林復所門下、高材として紅顏十五歲夙くも名主代勤に選まれて以來その卅年時に於て縣會成立後殆ど每期の縣會議員として將又郡宰として縱橫の經綸を以て地方福祉の增進に努め其一度桂冠して故山に歸るや明治廿三年衆望を一身に集めて初期の衆議院議員に當選し其間道路の開鑿に鐵道電信の敷設に地方開發に寧日なく所謂黎明時代の磐城地方は其の產業方面に於ても經濟方面たるとを論ぜず一に翁の手によりて常にその新生面を打開せられた翁更に地方の炭田を開發し以て地方百年の大策を樹立すべく明治二十六年五月澁澤榮一、淺野總一郎氏等と謀り磐城炭礦株式會社を創立してその取締役に就任し鋭意劃策常磐海岸線鐵道の敷設を促進し其輸送を圓滑敏活ならしめ地方に於ける石炭輸送上に一新紀元を劃した功績與に沒すべからざるものあり更に二十八年松方正義、川崎八右衛門氏等と入山採炭株式會社を創立して取締役社長に就任し斯くして常磐炭界躍進の基を作り盤痒敢て倦まざりしが廿九年更に地方最初の金融機關として株式會社磐城銀行を創立して自ら其の頭取となり地方產業伸展に資し次で三十六年北漸して好間炭礦株式會社を創設する等現今磐城炭田に於て一ケ年數百萬噸の出炭を見つゝあるの殷盛は之れを悉く氏の功績に歸せざるべからず大正三四年の功により勳四等瑞寶章を授けられた斯して所謂功成り名遂げたる翁は男前代議士縣農工銀行頭取博之氏以下敬愛の裡に圍繞せられ悠々自適の晩年を樂みつゝあるの時計に接す鄉黨後進孰れもその長逝を悼んでゐる

十五日 南町埋立場で 葬儀は多分

白井遠平翁の葬儀其の他については十二日午後一時より磐城銀行樓上に於て委員會を開き種々決定する筈であるが葬儀は十五日午後一時より平町南町裏埋立場の齋場に於て告別式を執行する事になるらしい

平署でけふから 狩獵免許の下附
ことし獵の豫想で 天狗連意氣揚る

薄朗な秋の日も深まり愈々山野に啼鳴する鳥の聲に憧れてゐるフワンを限りなく喜ばせる狩獵シーズンに入つて來たが平署では例年の樣に既報の通り今十日から狩獵免許の下附願を受付ることゝなつてゐるの、此の日を待焦れてゐたフワンの群は午前八時平署が受付窓を開くと同時に飛込んで來た平町字八幡小路小田勇をいの一番に後から〳〵詰かけて係官を轉手古舞させてゐるが山の方の模樣は近年一寸見られなかつた程鳥群が多く此の分ではまんざら素人でない限り相當の豊獵は先ず疑のない所で天狗連は各れも『取らぬ狸の皮算用』ならぬ鳥勘定にホク〳〵ものである

巡查募集試驗
廿五日から各署で

本縣では目下巡查の募集中であるが採用試驗日割並に科目は次の如くである、十月廿五日午前八時から縣下各警察署に於いて、試驗科目は算術、作文國語、日本地理、歷史、受驗資格は年齡廿才以上三十五才未滿の男子である

石双二郡の 指導協議會
指示と協議

石城、双葉兩郡桑園改良指導員協議會は九日午前十時から平町元郡會議室に開會久ノ濱出張所主任酒井技手議長席に付き左の件に付き審議するところがあつた

指示事項

一、養蠶經營法調查要項の件
二、養蠶經營模範作に關する件
三、諸習講話會開催の件
四、桑樹剝皮利用傳習會開催の件
五、桑苗生產に關する件

協議事項

一、兒蠶飼育に關する件
二、適切なる指導方法並に事項に關する件

胡摩澤區民 排水工事陳情
卅餘名連書で

平町縣立磐城中學校の敷地は曾て畑地であつたが當時は大雨でも自然に排水されてゐたが學校設立後は降雨每にグラウンドにたまつた雨水が一時に胡摩澤方面に流出し附近民に非常に困つてゐたが今回胡摩澤、北目の兩區民は適當な排水路をつくらねば困ると協議の結果排水工事を縣に迫ることゝなり花澤區長外三十餘名連署して縣に陳情書を提出した

入山少年野球
坑務軍優勝

湯本町入山炭礦主催少年野球大會は既報の如く昨九日午前八時から同町小學校グランドに於いて華々しく開始され出場チーム八仙、社宅、坑務、調查、四坑の五チームで第一回戰に社宅、坑務四坑勝ち二回戰四坑、坑務殘り兩軍の間に決勝戰を行つたが坑務の守備攻擊共に見事で四坑奮闘も甲斐なく十二對零で坑務優勝す

青年厭世自殺
家庭が不和で 松の木に縊死

双葉郡久ノ濱町大字北町指物職新妻安吉長男義高（二五）は二三日前父と口論し死んでしまうと捨て言葉を殘して家出し行衞不明となつて居つたが去る八日午後二時頃久ノ濱町大字金ケ澤通稱バクチ穴附近の松の木に帶にて縊死して居たのを草刈り歸りの農夫が發見し直ちに久ノ濱駐在所に屆出たので四ツ倉署より係官出張し檢死の上父安吉に引渡したが安吉父子は常に意見が合わず喧嘩の絕間がなく之れを厭世悲觀の結果らしいと

人力車檢查
平町と湯本で

平警察署では次の日割で管內人力車の車体檢查を執行する事に決定した

△日割 十一日湯本町、十二日平町

酌婦を脅かした 僞刑事捕はる
柳町魚屋の小倅が 平署餘罪取調中

平町字南町飲食店林屋方抱酌婦根本アキ（二七）が去る一日午後十一時半頃數名の客と連れ立ち戲れながら平町目抜の三丁目街路を通行中突然平銀行角から姿を現した廿二三才位いの青年が俺は平署の刑事だ夜中に酌婦が出歩むのは怪しいゝ取調べがあるから本署まで來いとアキを引立てゝ平署表玄關口に止め自分は同署裏手の闇中に姿をかくし程經て現れた件の男は『取調の都合があるから』とアキを連れて新川畔に行かんとしたので不審に思つたアキは件の男の隙を窺つて南町通りで姿をかくし此の旨平署に屆出たので平署では犯人嚴探中であつたが今朝二瓶刑事は平町字柳町十一魚行商鈴木又六長男又三郎（二三）を有力な被疑者として本署に引致嚴重取調べ結果前記犯行を自白したが更らに餘罪ある見込或は城山方面を荒し廻つた犯人ではないかと見られてゐる

小名港視察
町村長一行 磐城丸に便乘

湯本町小學校に開催中の縣下町村長會議は昨九日で議事を終了し今十日は一同磐城軌道に便乘し小名濱港より磐城丸に乘船江名濱に上陸同町有志の歡迎會に臨み午後六時湯本町に歸り協贊會主催の歡迎會に招かれる

平營林署の 松茸狩り
白岩で盛會

秋の行事として愛好家から喜ばれる平營林署の松茸狩りは既報の如く昨九日午前六時平驛發列車で大野村白岩に至り盛大に擧行されたが參會者百數十名何れも充分の歡を盡して午後三時散會したが今年は天候其の他の加減から茸の出來榮は殊の外見事で參會者全部が多大の收獲があつた

縣下女子庭球で 磐高女軍優勝
決勝は師範生と 四對二の快記錄

東京日々主催第三回縣下女子中等學校庭球大會は九日午前十一時から福島高等女學校ABコートにおいて開催參加校九校二十七組の試合が行はれてゐた當日は前夜雨晴れたるも西風強く試合には多少の支障を生じたんだ準決勝戰まで入つたのは磐城高等女學校福島高等女學校師範の三校でつひに磐城及び福島師範の二校が決勝となり最後の優勝は磐城高等女學校の手に落ちた當日の戰績左の如し

準決勝戰

Aコート
渡邊 鈴木（磐城）3―0 龜山 鴨原（福島）
長瀨 佐藤（磐城）3―2 持地 高（福島）

Bコート
佐藤 岡本（師範）3―1 菅原 瀨谷（磐城）
海野 佐藤（福島）2―3 兒島 竹內（師範）
長瀨、佐藤組（磐城）と佐藤、岡本組（師範）は棄權

決勝戰
渡邊 鈴木（磐城）4―2 兒島 竹內（師範）

縣社釿始祭
けふ盛大に執行

縣社子鍬倉神社社殿の改築工事はいよ〳〵着手することとなり今十日午前十時より氏子有志を招待、舊社殿に於て古式に則り嚴かに釿始祭が行なはれた

隔離舍閉鎖
平で五日限り

平町の傳染病院では入院患者が全部退院したので五日限り閉鎖とする事になつたが十月初旬に病室を閉鎖した事は稀有で町でも喜んでゐる

紅燈街

▲新田町三島屋の大姐さん『當八』さんはかりそめの風邪がもとで思ひもうけぬ胃膓を害し休養中の處、すつかり治つたのでけふ快氣の披露をした▲石城郡小名濱町中坪五四淸宮よし（二九）は同町藝妓家吉田こに吉松と名乘つて稼業中八月二十日逃走行衞搜查中の所最近伊豆稻取町に潛伏中逮捕された

寒さに是非……
毛糸各種 新荷着
手編用に防寒用にイヨ〳〵需用が激增してまゐりました、是非御用命を
平町三町目
三井吳服店
電話 三十八番

のんですぐきく
クノー散
神經痛、頭痛、ロイマチス、齒痛、肩のコリ、其他疼痛時服用すれば奏効的確なり
論より證據直ちに試みられよ
定價 二十錢、三十錢、五十錢、一圓
平町各藥店ニテ特約販賣致します

TRADE MARK NIPPONOPHONE
秋！
活躍のシーズン來る
勞働勤務に運動に
指示正確なる
時計を
蓄音器とレコードの
御用は……
定評ある當店へ
平町四丁目
會田時計店
電話三六三

深キ經驗ト正シキ學理ヲ基トシテ
最新ノ設備ト優秀ナル技巧ニ依リ
多產廉賣
益々聲價漲ル
萬年瓦
仙臺高等工業學校試驗證明
鐵道省 福島縣廳 栃木縣廳 青森縣廳 指定品
福島縣四倉町
萬年瓦工業株式會社
電話 三八番

僅かな費用で樂しい旅へ!! 日光參拜、鹽原淸遊、紅葉觀賞
遊覽團体開催
期日 十月十六日（日曜日）十月十七日（神嘗祭）十月十八日（火曜日）
會費 金拾五圓也 豫定人員二百名
募集期間と雖も滿員の際は締切り申候
但し 申込と同時保證金として金參圓を納め殘額は拾貳圓十十日迄に完納されたし
主催者 尼ヶ亭 吉田直之助
電話二三〇番
申込所
長橋町 植頭商店 研町 吉村綿店
材木町 石山建具店 紺屋町 扇屋旅館
一丁目 馬目米店 二丁目 丸內油店
三丁目 山田忠太郎 四丁目 丸市魚店
五丁目 吉田染物店 鎌田町 住吉屋
田町 石川牛肉店 平驛前 丸市旅館
銀治町 鈴木多利吉 南町 齋藤寅吉

平町紺屋町 吉田眼科醫院

內科、小兒科 花柳病科 入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平 五〇七番

外科、耳鼻咽喉科 內科、泌尿器科
X光線科
外科
赤心堂病院
平町字田町
電話 四七五

登錄商標
釀造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話 營業部一〇番 釀造工場二七番
振替東京一九七五五番
東京支店 上野車坂町四三
電話下谷五七二二番
振替東京六八三二二番

營業種目
內地材 材木各種、羽柄材各種 建築諸材請負 礦山用坑木其他諸材請負
外材部 米松、米杉、大角製材調達 請負 其他
佐藤材木店
常磐線平町 新川町
電話 三三五番